

◆日本共産党の見解を紹介します。

http://toride.jcpweb.net

メール jcp.toride@blue.ocn.ne.jp

◆ご意見、ご要望をお寄せください。

明るい取手

2013年6月16日(日)

発行:日本共産党取手市委員会

取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を

- 高木晶市委員長/TEL:74-2004
- 加増みつ子市議/TEL:74-8154
- 遠山ちえ子市議/TEL:83-8290
- 鈴木きよし市議/TEL:74-8160
- 関戸 勇市議/TEL:78-0500

安倍政権の暴走に立ち向かえるのは...

「自民 VS 共産」こそ、参院選挙の真の対決軸

日本の進路と国民の暮らしを大きく左右する大切な参議院議員選挙が間近に迫りました。安倍政権は、国会での多数を背景に、あらゆる分野で危険な暴走を始めています。

「バブルと投機」のアベノミクス、消費税増税と社会保障切り捨て、雇用のルール破壊、原発の再稼働と輸出、TPP(環太平洋連携協定)推進、沖縄などでの米軍基地強化、憲法の改悪、そして、過去の侵略戦争を肯定・美化する政治姿勢など、どの問題も、参議院選挙の大争点です。

「二大政党」とか「第三極」と言っても、中身が古い自民党政治と同じで

は、行きつまった日本の政治を変えることはできないこと、すでに明らかになりました。

「財界中心」「アメリカいいなり」「歴史逆行」——自民党政治の三つのゆがみにメスを入れてこそ、国民のみなさんが願う方向に政治が変わります。この立場と力をもった政党は、どの政党でしょうか。まさに「自共対決」こそ、参院選挙の真の対決軸です。

日本共産党は、安倍政権の危険な暴走と真正面から対決し、下記の5つの大争点での改革の提言を、国民のみなさんに訴えて、間近にせまった参議院選挙、全力でがんばります。

参院選 7月4日公示 7月21日投票へ



『国民が主人公』の新しい日本に向けて、日本共産党を大きく躍進させてください。

参院選 茨城選挙区予定候補 小林きょう子さん (6月5日、取手駅東口で街頭演説)

参院選で問われる大争点と日本共産党の改革提言

■アベノミクスの暴走を許さず、消費税増税を中止し、国民の所得を増やす本格的な景気回復の道を

- 暮らしと景気をこわし、財政も悪化させる消費税増税の中止を
- 賃上げと、安定した雇用、中小企業支援のルールをつくり出す
- 社会保障の大規模な削減路線と対決し、現役世代も、高齢者も安心できる制度に再生・拡充します
- 大震災からの復興を最優先——生活と生業の再建に必要な公的支援を

■「アメリカいいなり」をやめ、国民の利益を守る外交に——基地も安保もない日本をめざし、自主外交でアジアと世界の平和に貢献する

- TPP交渉参加を撤回し、農業の再生と食料主権、経済主権の確立を
- 沖縄県民の総意を踏みにじる米軍基地押しつけに反対し、基地のない平和な沖縄、基地のない日本をめざします
- 日米安保条約を廃棄し、対等・平等・友好の日米関係を築きます

■原発の再稼働と輸出を中止し、「即時ゼロ」の決断を——再生可能エネルギーに大胆に転換する

■安倍政権の改憲への暴走と対決し、憲法を守り、生かす政治を

- 憲法を憲法でなくしてしまう、96条改憲をやめさせ、立憲主義を守ります
- 憲法9条を守る——日本を「海外で戦争する国」にする改憲策動を許さず、9条を生かした平和の外交をすすめる国に
- 日本国憲法の全条項を守り、民主的・平和的条項の全面実施を

■侵略戦争、植民地支配を肯定・美化する歴史の改ざんと歴史への逆行を許さない

全文は日本共産党のホームページに掲載

JCP

検索

一人はみんなのために みんなは一人のために

取手駅東口のバリアフリー化をなんとしても実現させたいとJR東日本、取手市へ要望する2つの署名を取り組んでいます。ご協力をよろしくお願いします。

取手生活と健康を守る会 天羽 靖

私たち「生活と健康を守る会」は、「眠ってなんかられない、と話し合い…。そうだ、取手駅東口には未だにエレベーターやエスカレーターがない、西口側にはあるが、何故どうして、どうなっているの。高齢者、障害者、ベビーカーのお子達を連れてのホームに上がるには駅西口まで行かねば乗車ができないのです。JRは利用者に迷惑をかけているのです。

取手駅のバリアフリー化については、市議会で「請願」が採択されているそうです。しかし、市長は何を考えているのでしょうか。責任を果たすべきだと思います。

朝の通勤、そして疲れてのお帰りの方々にやさしくしてあげたいのにと私は思います。それには署名をたくさん集めなくてはと駅頭で署名、町内会の区長さん方へお願いなど走りまわっている自分です。

早期設置を願って一句

「杖を持って歩く姿我悲しき」

駅頭で署名の訴えをする「取手生活と健康を守る会」の天羽 靖(あまはしづ)さん(取手1丁目在住)



集めた署名を持って「JR 東日本」に出向き要請行動します。

一人で悩まずに お電話を TEL.72-7816

生活相談・労働相談/弁護士無料法律相談

弁護士無料法律相談は 6月18日(火)午後1時半~ 電話でご予約を

米ノ井地区、新たな埋め立て計画

日本共産党市議団、住民らと現地調査



6月9日、現地調査する関戸勇市議ら

5月26日、米ノ井地区の新たな埋め立て計画について、埋め立て業者による地元住民への説明会が実施されました。この区域は、取手市が市総合計画や環境基本計画で、ヘイケボタルなどいくつかの貴重な動植物が生息し自然環境の残る地域と位置付けているところです。また、平成23年9月の市議会で、「取手市の稀少なヘイケボタルやメダカが生息する自然環境の小川の保全を求める請願」が採択された地域でもあります。

今回の埋め立て計画は、埋め立て業者の説明では、広さ約2万6000m²、埋め立て積み上げ高さは約5～10m、土砂(多くは建設残土)は1日に50～100台(往復では200台が走行)のふれあい道路から生活道路(両脇に民家あり)を使ってダンプカーで搬入するとしています。今年の秋に工事を行いたいとしています。



地図は Google から



業者が申請した埋め立て予定計画区域(黒線で囲まれた部分)…業者が配布した資料から

この計画に対し、地元住民や自然環境保全を求める市民らから疑問や不安の声があがっています。党事務所にも意見が寄せられています。

その主なものを紹介します。

- 埋め立てに使う土砂はどこからもってくるのか。土質は問題ないのか。
- 土砂(残土)の「放射能」測定を実施してほしい。
- ホタルや自然を守ってほしい。小川は大丈夫か。
- ダンプが道路をこわすのでは。
- ダンプが通るのは危険だ。騒音、ほこり、安全対策は。
- 通学路にもなっている。通学時間帯はどうするのか。
- 医師会病院やグリスポへ通う市道が埋め立てられるのは困る。
- 地元住民への説明会があると前日に知らせがあった。ひどいやり方だ。
- 再度説明会を開いてほしい。
- 市はどう考えているのか。説明に来ないのはおかしい。…など

原発事故から
2年以上

ホットスポット
取手市

側溝汚泥から処理基準超の 1万4805ベクレルの放射性セシウム検出 毎時3.8マイクロミリシーベルトが測定された

**市は、自治会や町内会などに当面、側溝清掃の自粛を要請したと言うが…
市民の健康が最優先＝側溝清掃を急いで除染をすすめるのが市の仕事です。**

市内で、1日と2日、市内6地区で、住民がボランティアで側溝清掃作業を実施した後、回収された汚泥から基準値を超える放射性セシウムが検出されました。その検出値は、福島第1原発事故による指定廃棄物の処理基準(1キロ当たり8000ベクレル)を超える1万4805ベクレルです。これは、市内の運搬業者が6地区からの汚泥約3トン(243袋)を回収し、そのうち約2トンをつくば市内の廃棄物処理業者の焼却施設に持ち込んだところ、基準値を超えていることが判明し、受取を拒否されたというもの。担当職員が、業者が保管している回収汚泥の放射線量を測定したところ毎時3.8マイクロシーベルトを記録しました。現在、市は回収汚泥を持ち帰り、市役所

構内に移動し保管しています。

市は、側溝清掃を予定している自治会や町内会などに当面、清掃を自粛するよう要請しました。現在、環境省や県などに相談しながら、今後、どのように側溝の清掃に取り組むかなどを検討してるとしていますが、見通しは立っていません。

これを知った市民から、「原発事故から2年も経つのに除染はどうなっているのか。放射能が高い汚泥をそのままにしておくのか」、「これでまた、除染作業がまた遅れるのではないのか」、「清掃作業を自粛するのではなく、清掃作業を促進するというのがスジだ、市民の健康をどう考えているのか」と市の対応に不安と怒りがひろがっています。



8日から市役所敷地内に保管されている側溝の汚泥＝体育館脇(6月13日撮影)

6月定例取手市議会開会中 6月7日から6月21日(予定)